

登録コード	HM117200	開講年度	2026				
授業題目	消化器移植・再生医学特論					担当教員	副島 雄二 他
英文授業名	Transplantation & Tissue Engineering in GI System					副担当	清水 明・大野 康成・窪田 晃治
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	1 年次
講義室				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初						
	【研究科共通_2024年度以前対象】高度専門職業人・研究者として、科学・技術を発展させるための健全な倫理観					⇔	消化器領域の発生・再生医学について学習するとともに、最先端の研究に触れることで、各自の研究へ活用できるようになる。
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					⇔	消化管、肝臓、胆道、膵臓の悪性腫瘍を対象に、発癌のメカニズムについて重点的に学習し、トランスレーショナルリサーチなどに発展させるよう理解できるようになる。
(2)詳細/Detailed information	消化管、肝臓、胆道、膵臓領域の再生医療における独創的研究を遂行することができる。						
(3)授業の概要/Overview of course	消化管、肝臓、胆道、膵臓領域の再生医療における独創的研究を遂行するために必要な最新の知識と研究手法について解説し、演習を行い習得させ、論文指導を行う。						
(4)授業計画/Course plan	1. 肝再生とその促進に関する研究，ヒト多能性幹細胞を用いた肝細胞、胆管細胞、膵嶋細胞の作製、organoid作製に関する研究方法を概説し、研究の指導を行う。（全10回） 2. 小腸移植に関する研究。ヒト多能性幹細胞を用いた小腸上皮の作製、organoid作製に関する研究方法を概説し、研究の指導を行う。（全10回） 3. 肝臓移植、肝細胞移植、膵島移植に関する研究方法を概説し、研究の指導を行う。（全10回）						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	すべての授業終了時に筆記試験を行う。90点以上 秀、80－89点 優、70－79点 良、60－79点 可、60点未満不可とする。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	消化器関連の臓器は多く疾患も多彩である。このため、授業の出席、予習・復習など、消化器病学の理解には計画的な学習が要求される。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	授業中、あるいは授業直後に直接質問を受け付けます。						
(8)授業の形式/Course format	パソコンを用いて多方面の視覚画像が豊富に供覧される。						